

# 2018 中野区区民意識・実態調査

## 《概要版》

### 調査の概要

#### 〔調査の項目〕

- |                    |                        |
|--------------------|------------------------|
| 1 定住意向について         | 7 地震災害への対策について         |
| 2 生活環境について         | 8 人権・男女共同参画について        |
| 3 中野区への愛着度・推奨度について | 9 ユニバーサルデザインについて       |
| 4 社会や地域との関わりについて   | 10 区政情報の入手について         |
| 5 中野駅周辺について        | 11 外国の方との交流・外国人旅行者について |
| 6 公園・広場等の利用について    | 12 施策への評価・要望について       |

※他の調査項目は、報告書参照

〔調査対象〕 中野区民で20歳以上の男女個人

〔標本数〕 2,000人

〔有効回収数〕 1,145人（57.3%）

〔抽出方法〕 層化二段無作為抽出法

〔調査方法〕 郵送配布・郵送回収

〔調査期間〕 平成30年9月20日（木）～平成30年10月18日（木）

### 結果の見方

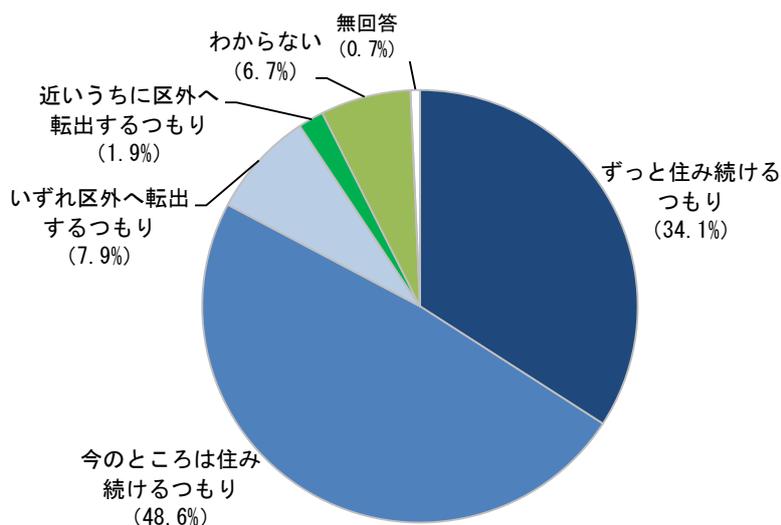
- (1) (○はいくつでも) (○は2つまで) (○は3つまで) (○は最大3つまで) (回答は3つまで) と記述されたもの以外は、選択肢を1つだけ選ぶ設問である。
- (2) 回答の比率(%)は、その設問の回答者数を基数として、小数点第2位を四捨五入して算出した。したがって、単数回答の設問については、すべての選択肢の比率の合計が100.0%に満たない、または上回る場合がある。
- (3) 複数回答の設問については、すべての選択肢の比率の合計が、通常100.0%を超える。
- (4) 本文やグラフ・数表上の選択肢の表記は、場合によっては語句を簡略化してある。
- (5) グラフに表記される「n=\*」(\*は数字)は、集計対象の母数を表している。

2019年（平成31年）2月  
中野区

# 1 定住意向について

## (1) 区内定住意向

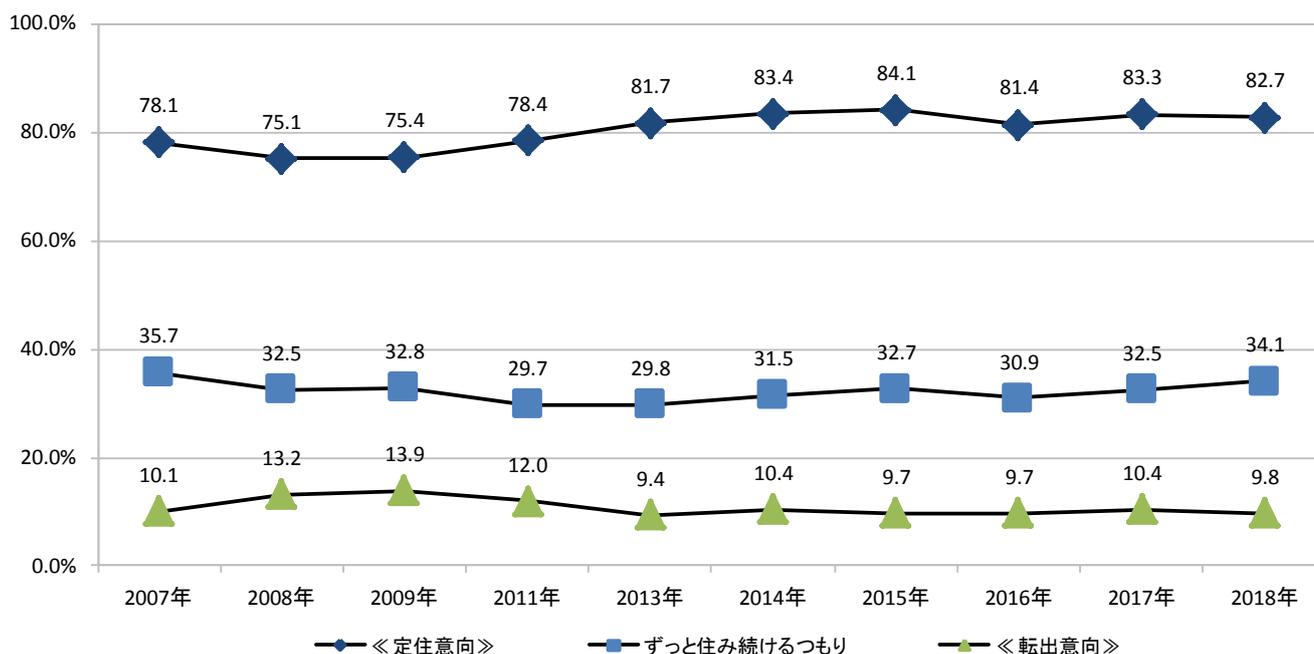
定住意向を聞いたところ、「ずっと住み続けるつもり」(34.1%)と「今のところは住み続けるつもり」(48.6%)を合わせた《定住意向》(82.7%)は8割前半となっている。一方、「いずれ区外へ転出するつもり」(7.9%)と「近いうちに区外へ転出するつもり」(1.9%)を合わせた《転出意向》(9.8%)は約1割となっている。



n=1,145

### <参考> 経年調査との比較

定住・転出意向の推移をみると、《定住意向》と《転出意向》ともに昨年 2017 年から大きな変化はみられない。

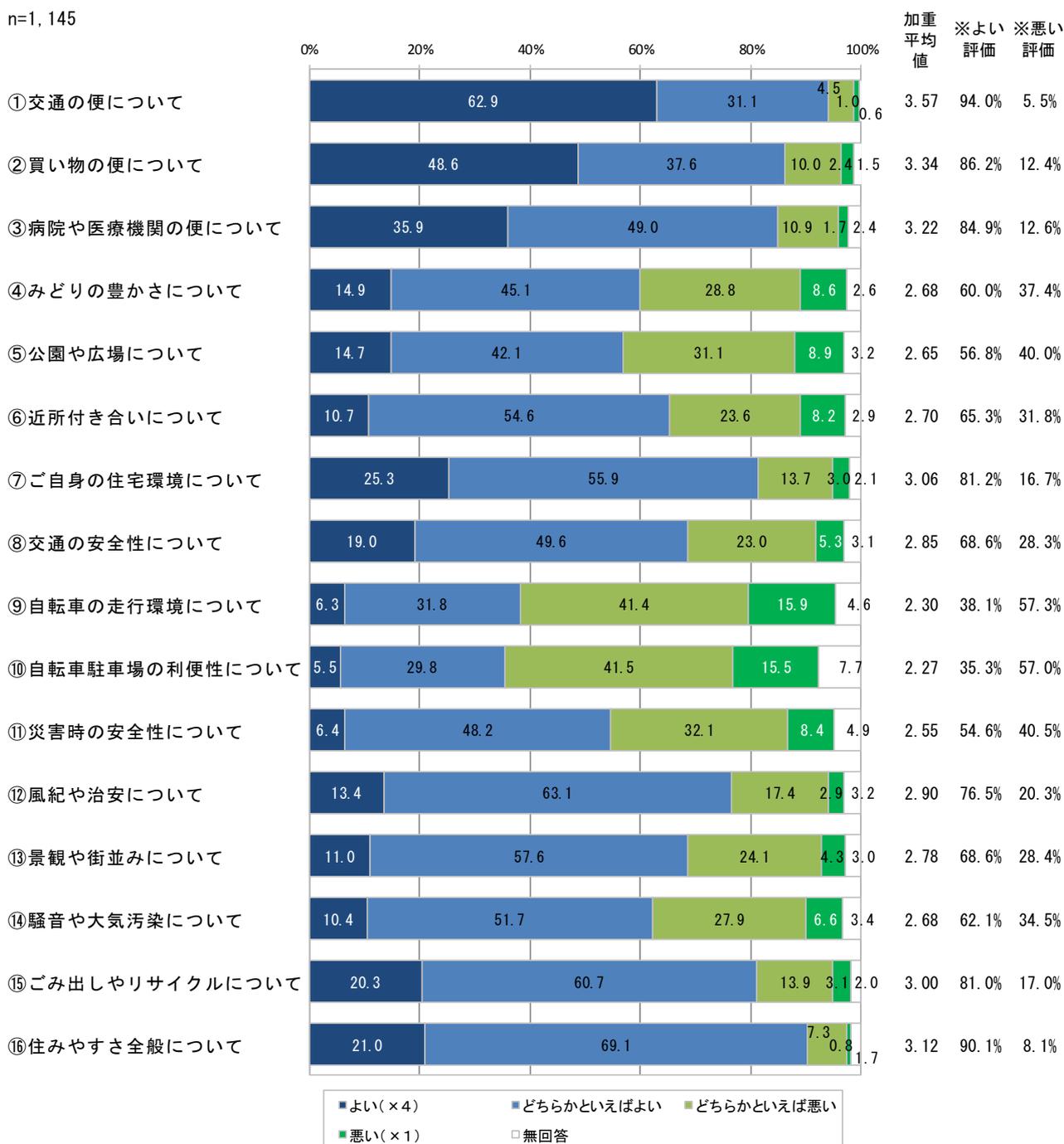


## 2 生活環境について

### (1) 生活環境の評価

自宅周辺の生活環境についてどのように感じるか16項目にわたり聞いたところ、「よい」と「どちらかといえばよい」を合わせた《よい評価》では、「①交通の便について」(94.0%)が9割半ばと最も高く、次いで「⑯住みやすさ全般について」(90.1%)、「②買い物の便について」(86.2%)となっている。一方、「悪い」と「どちらかといえば悪い」を合わせた《悪い評価》では、「⑨自転車の走行環境について」(57.3%)、「⑩自転車駐車場の利便性について」(57.0%)が5割後半となっている。

n=1,145

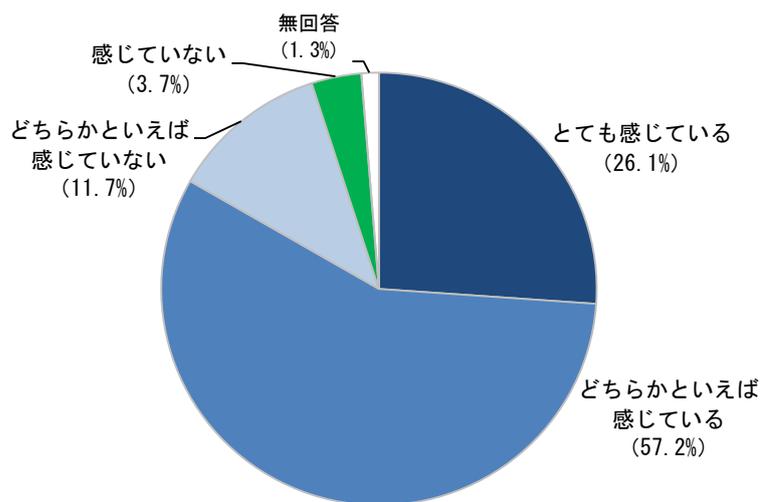


※加重平均値は、選択肢「よい」を4点、「どちらかといえばよい」を3点、「どちらかといえば悪い」を2点、「悪い」を1点として算出している。

### 3 中野区への愛着度・推奨度について

#### (1) 中野区への愛着度

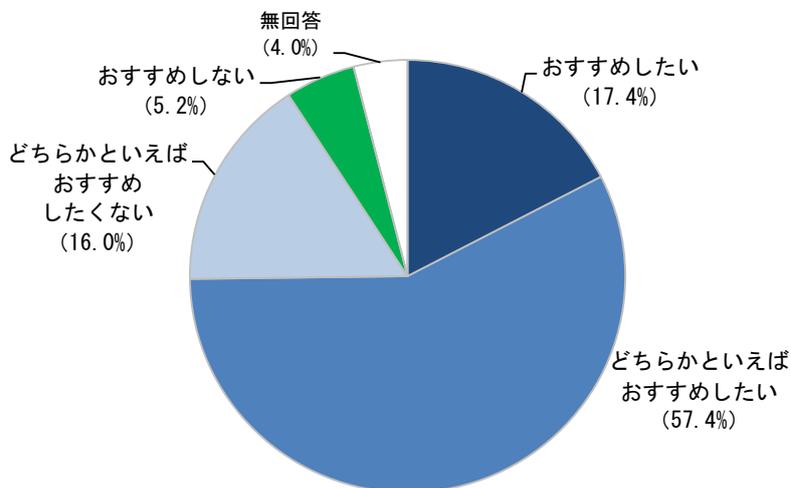
中野区への愛着度を聞いたところ、「とても感じている」(26.1%)と「どちらかといえば感じている」(57.2%)を合わせた《愛着を感じている》(83.3%)は8割前半となっている。一方、「どちらかといえば感じていない」(11.7%)と「感じていない」(3.7%)を合わせた《愛着を感じていない》(15.4%)は1割半ばとなっている。



n=1,145

#### (2) 中野区の推奨度

中野区への定住や来訪の推奨度を聞いたところ、「おすすめしたい」(17.4%)と「どちらかといえばおすすめしたい」(57.4%)を合わせた《おすすめしたい》(74.8%)は7割半ばとなっている。一方、「どちらかといえばおすすめしたくない」(16.0%)と「おすすめしない」(5.2%)を合わせた《おすすめしない》(21.2%)は約2割となっている。

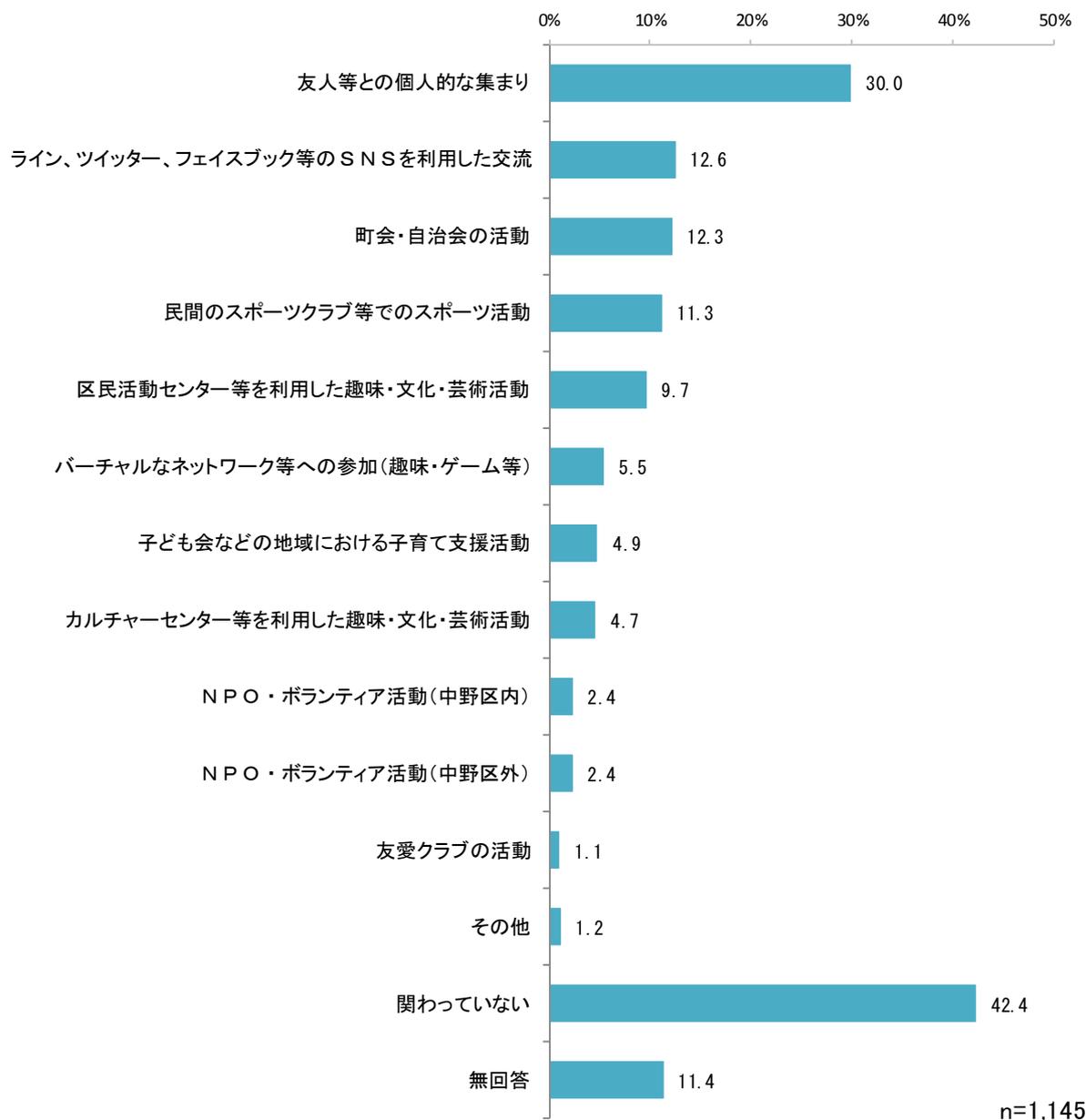


n=1,145

## 4 社会や地域との関わりについて

### (1) 最近1年間に参加した地域活動

最近1年間に、参加した活動（複数回答）を聞いたところ、「関わっていない」（42.4%）が4割前半で最も高くなっている。参加した活動の中では「友人等との個人的な集まり」（30.0%）が最も高く、次いで「ライン、ツイッター、フェイスブック等のSNSを利用した交流」（12.6%）、「町会・自治会の活動」（12.3%）、「民間のスポーツクラブ等でのスポーツ活動」（11.3%）となっている。

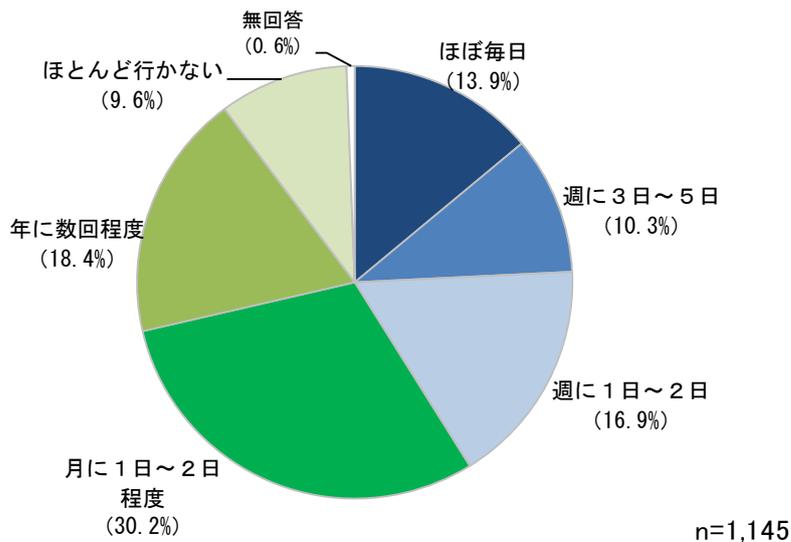


## 5 中野駅周辺について

### (1) 中野駅周辺の訪問頻度

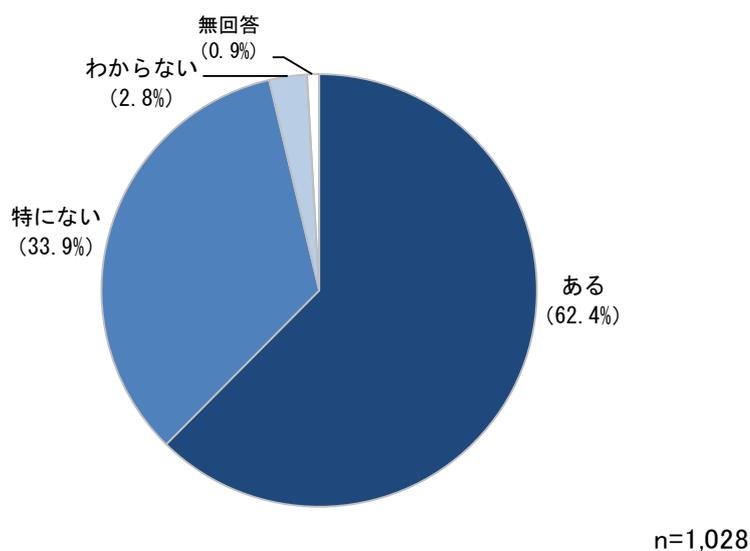
中野駅周辺へ行く頻度を聞いたところ、「月に1日～2日程度」(30.2%)が最も高く、次いで「年に数回程度」(18.4%)、「週に1日～2日」(16.9%)となっている。

「ほぼ毎日」(13.9%)、「週に3日～5日」(10.3%)、「週に1日～2日」(16.9%)を合わせた《週1日以上》(41.1%)行く人は約4割となっている。



### (2) 中野駅周辺利用時の不満の有無

中野駅周辺を利用する人に不便や不快など不満の有無を聞いたところ、不満が「ある」(62.4%)が6割前半で、「特にない」(33.9%)を大きく上回っている。

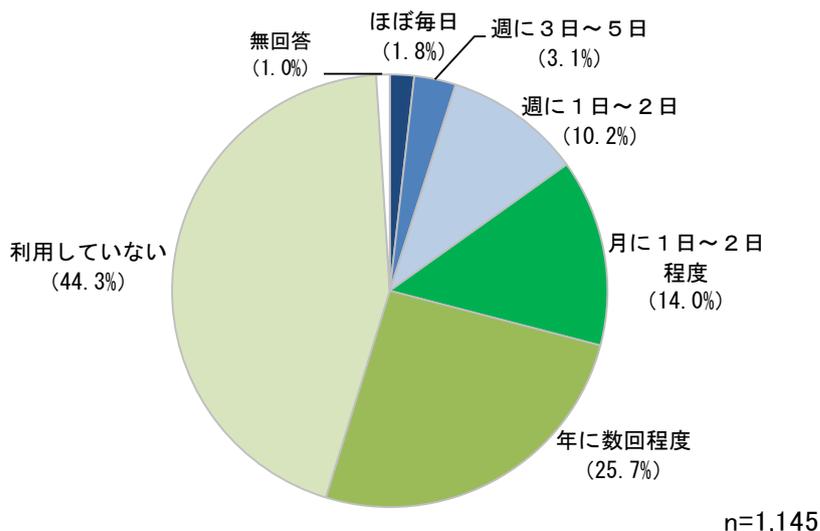


## 6 公園・広場等の利用について

### (1) 区内の公園や広場の利用状況

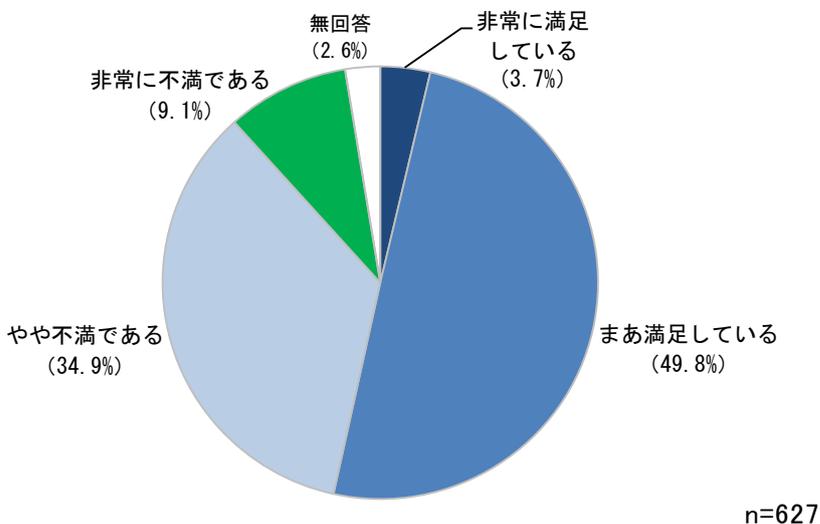
公園や広場の利用頻度を聞いたところ、「利用していない」(44.3%)が4割半ばで最も高く、次いで「年に数回程度」(25.7%)、「月に1日～2日程度」(14.0%)となっている。

「ほぼ毎日」(1.8%)、「週に3日～5日」(3.1%)、「週に1日～2日」(10.2%)を合わせた《週に1日以上》(15.1%)利用している人は1割半ばとなっている。



### (2) 区内の公園や広場の満足度

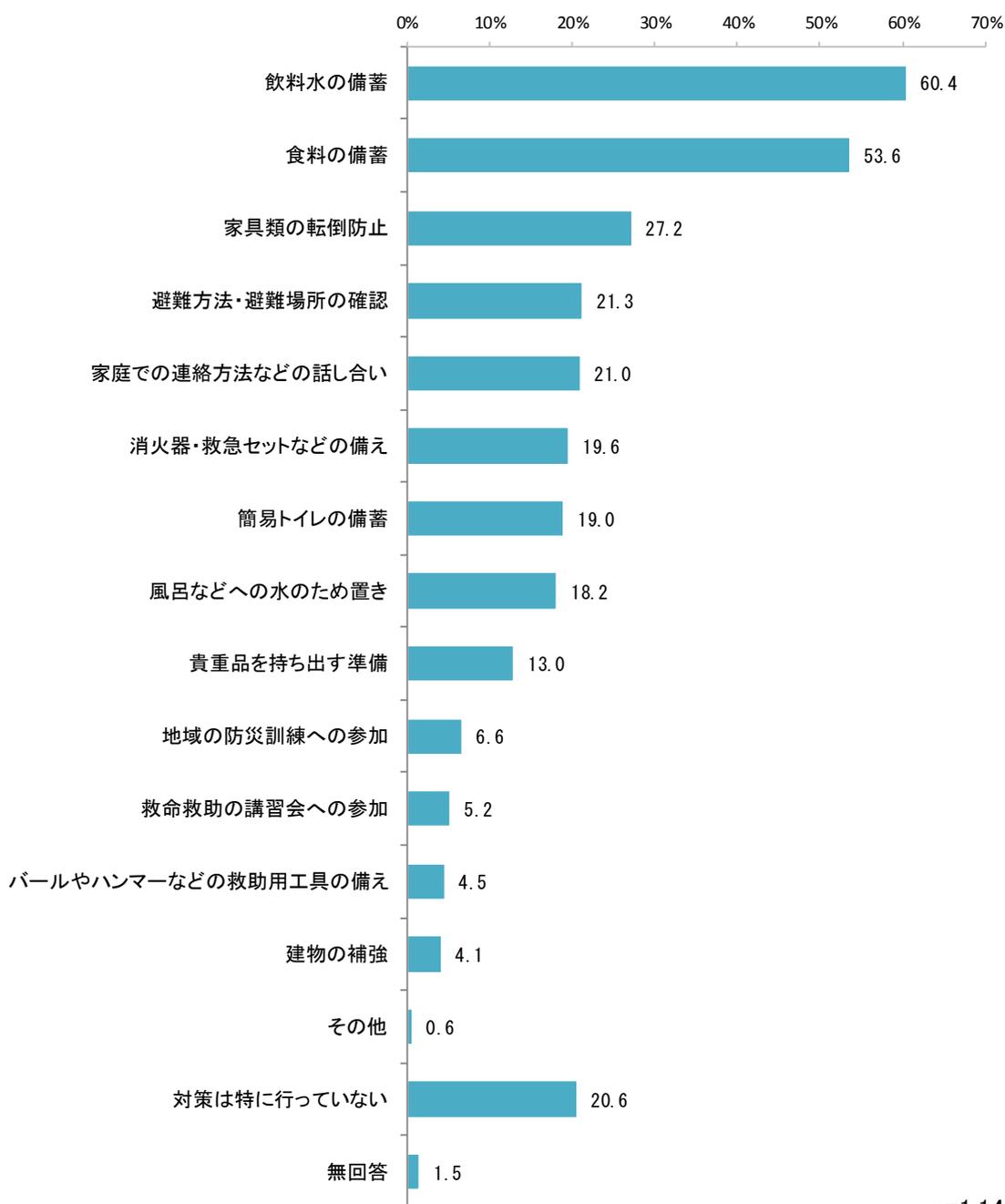
公園や広場の利用者に満足度を聞いたところ、「まあ満足している」(49.8%)が約5割で最も高く、「非常に満足している」(3.7%)と合わせた《満足している》(53.5%)は5割前半となっている。一方、「やや不満である」(34.9%)と「非常に不満である」(9.1%)を合わせた《不満である》(44.0%)は4割半ばとなっている。



## 7 地震災害への対策について

### (1) 家庭での備え

地震災害に備えて家庭内で行っている対策（複数回答）を聞いたところ、「飲料水の備蓄」（60.4%）が約6割で最も高く、次いで「食料の備蓄」（53.6%）が5割前半で続き、以下「家具類の転倒防止」（27.2%）、「避難方法・避難場所の確認」（21.3%）、「家庭での連絡方法などの話し合い」（21.0%）、「消火器・救急セットなどの備え」（19.6%）となっている。一方、「対策は特に行っていない」（20.6%）が約2割となっている。



n=1,145

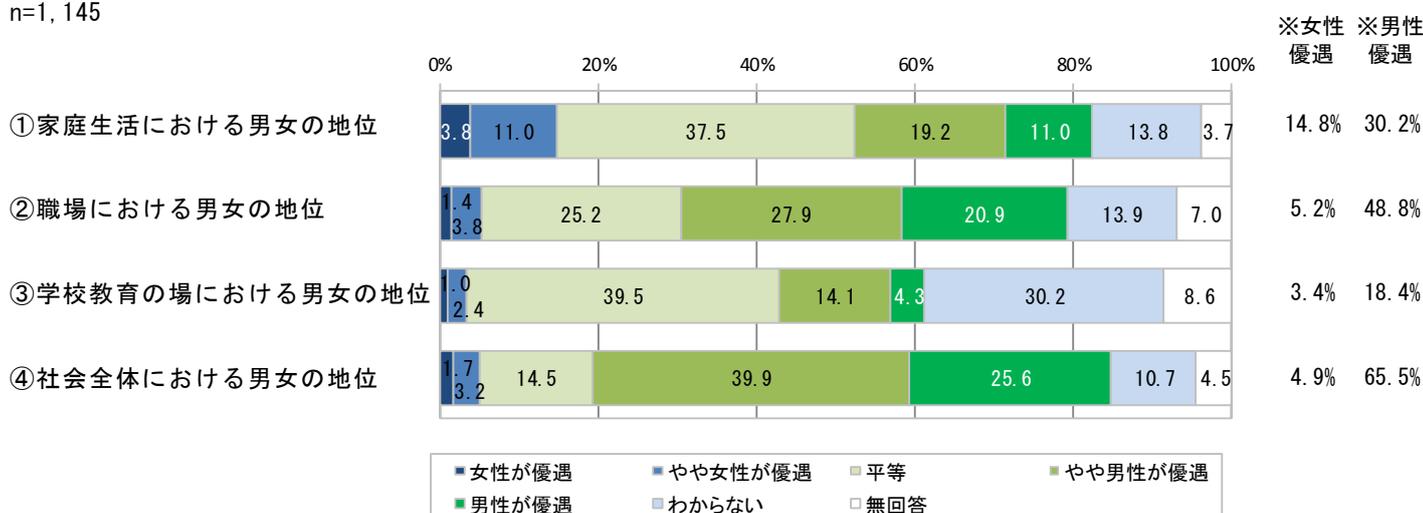
## 8 人権・男女共同参画について

### (1) 男女の地位の平等感

4つの分野において、男女の地位が平等だと思うか聞いたところ、「平等」が最も多かったのは、『③学校教育の場における男女の地位』(39.5%)であり、次いで『①家庭生活における男女の地位』(37.5%)、『②職場における男女の地位』(25.2%)、『④社会全体における男女の地位』(14.5%)となっている。

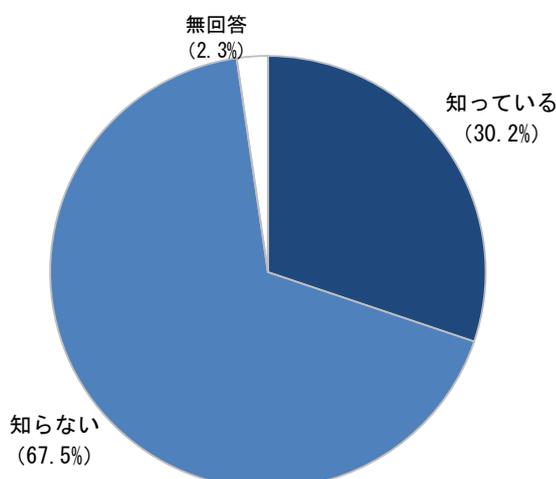
4つの分野はいずれも、「男性が優遇」と「やや男性が優遇」を合わせた「男性優遇」が、「女性が優遇」と「やや女性が優遇」を合わせた「女性優遇」を上回っている。『④社会全体における男女の地位』では、「男性優遇」(65.5%)と「女性優遇」(4.9%)の格差が60.6ポイントと最も大きくなっている。

n=1,145



### (2) 人権侵害に関する相談体制の認知有無

人権侵害に関する相談体制の認知について聞いたところ、「知っている」(30.2%)が約3割、「知らない」(67.5%)が6割後半となっている。

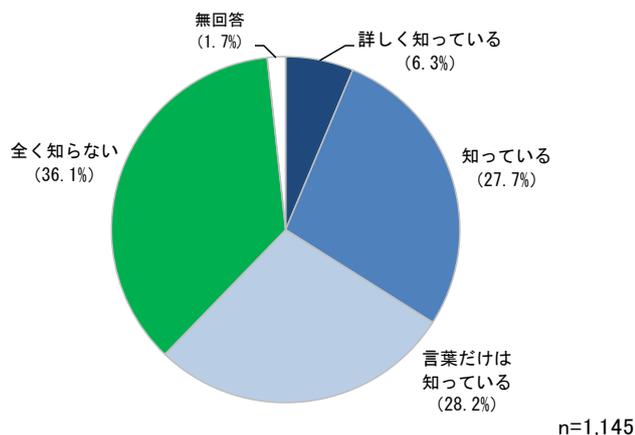


n=1,145

## 9 ユニバーサルデザインについて

### (1) ユニバーサルデザインの認知度

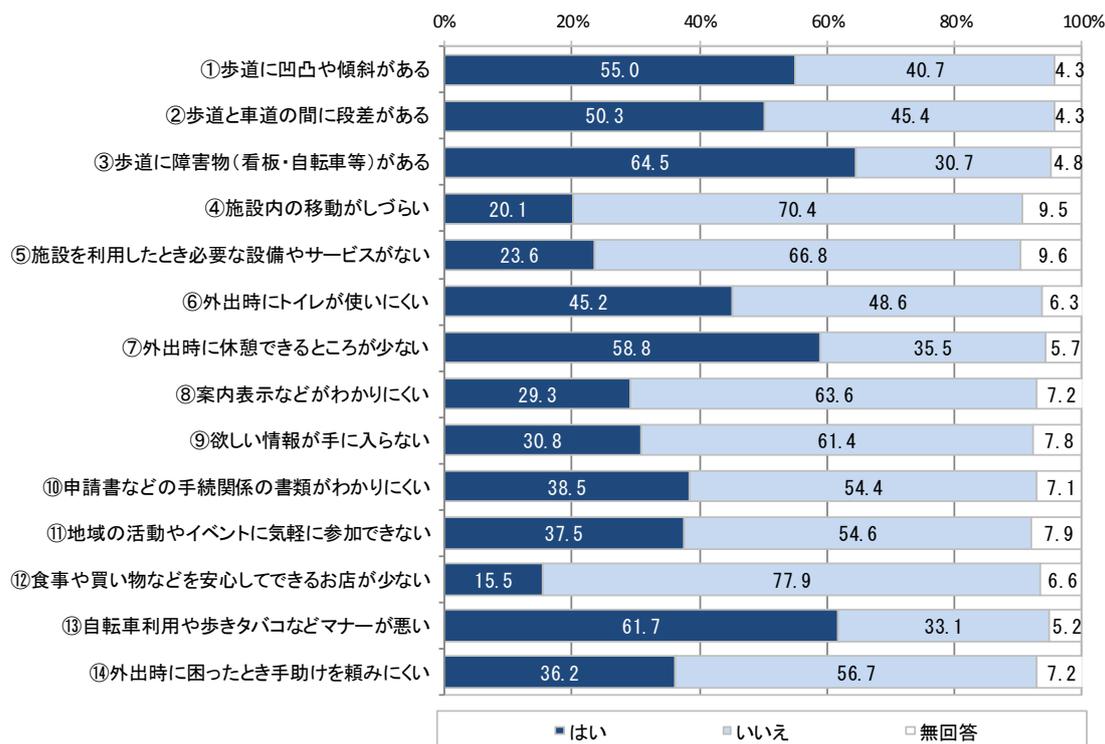
ユニバーサルデザインの認知度を聞いたところ、「詳しく知っている」(6.3%)、「知っている」(27.7%)、「言葉だけは知っている」(28.2%)を合わせた《知っている》(62.2%)が6割前半で、「全く知らない」(36.1%)が3割半ばとなっている。



### (2) 普段の生活で感じる不便

普段の生活で感じる不便について、『③歩道に障害物(看板・自転車等)がある』(64.5%)、『⑬自転車利用や歩きタバコなどマナーが悪い』(61.7%)の2項目で「はい」がそれぞれ6割台となっている。次いで、『⑦外出時に休憩できる場所が少ない』(58.8%)、『①歩道に凹凸や傾斜がある』(55.0%)、『②歩道と車道の間に段差がある』(50.3%)の3項目で「はい」がそれぞれ5割台となっている。

n=1,145

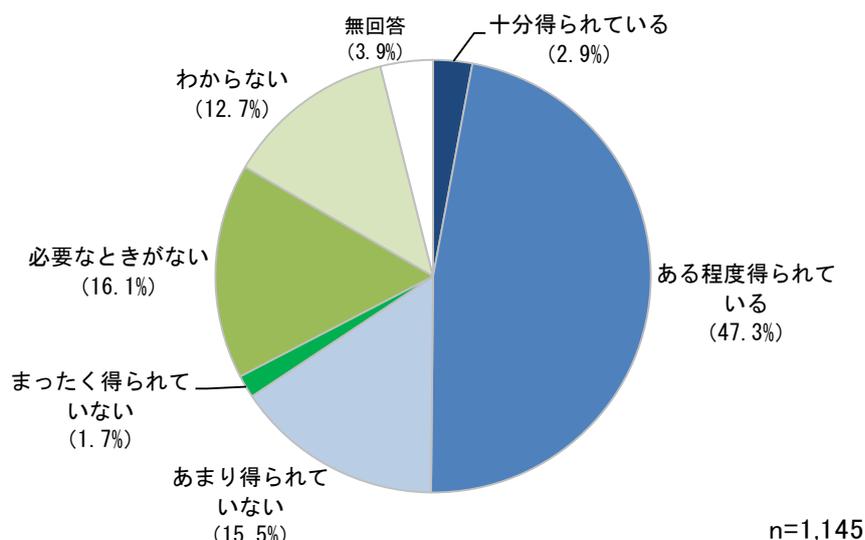


# 10 区政情報の入手について

## (1) 区政情報の入手状況

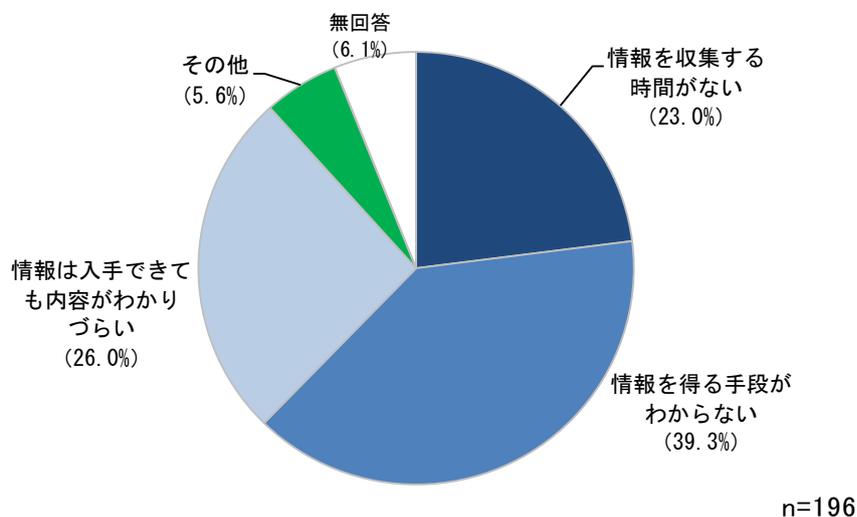
必要とする中野区の区政情報が得られているかを聞いたところ、「ある程度得られている」(47.3%)が4割後半で最も高く、次いで「必要なときがない」(16.1%)、「あまり得られていない」(15.5%)、となっている。

「十分得られている」(2.9%)と「ある程度得られている」(47.3%)を合わせた「得られている」(50.2%)は約5割となっている。



## (2) 区政情報が得られない理由

中野区の区政情報が得られていない人に、その主な理由を聞いたところ、「情報を得る手段がわからない」(39.3%)が約4割で最も高く、次いで「情報は入手できても内容がわかりづらい」(26.0%)、「情報を収集する時間がない」(23.0%)となっている。

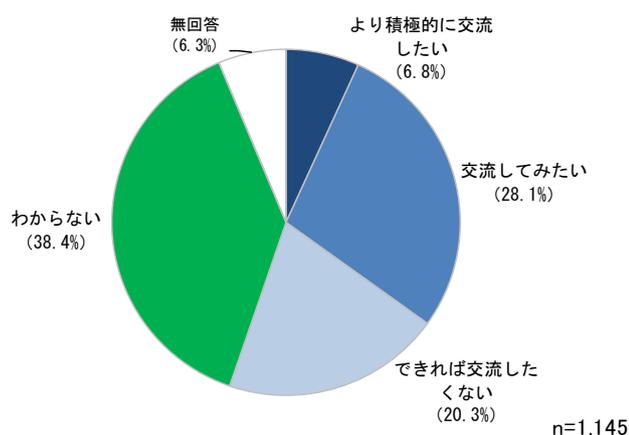


# 1 1 外国の方との交流・外国人旅行者について

## (1) 外国人旅行者との交流意向

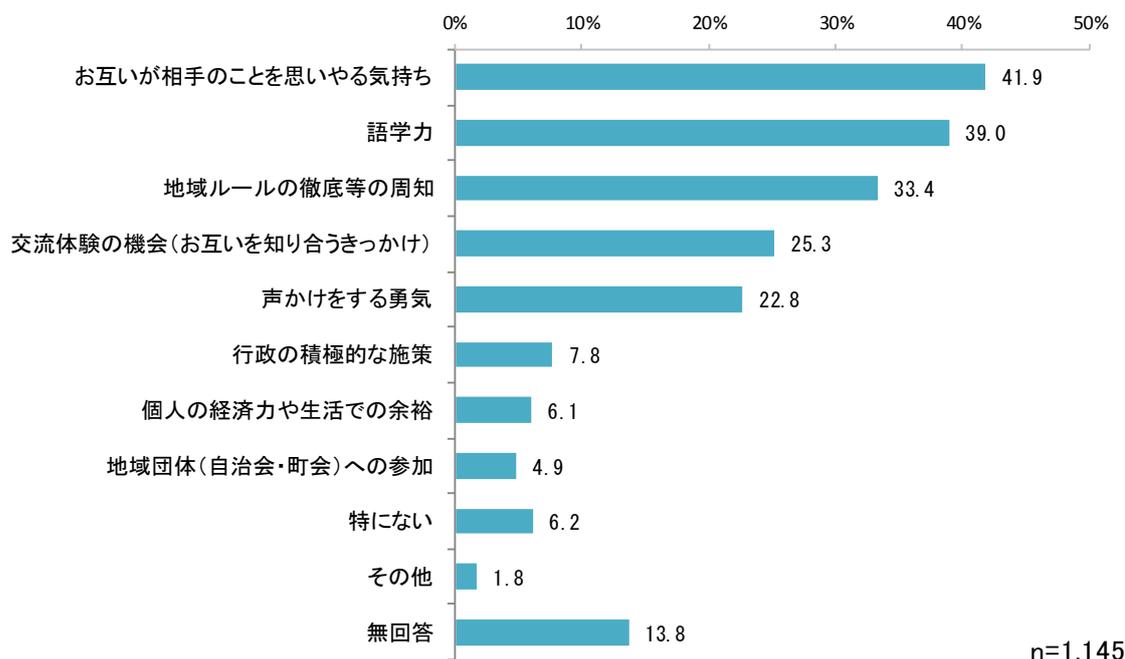
外国人旅行者との交流についての意向を聞いたところ、「わからない」(38.4%)が3割後半で最も高く、次いで「交流してみたい」(28.1%)、「できれば交流したくない」(20.3%)、「より積極的に交流したい」(6.8%)となっている。

「より積極的に交流したい」と「交流してみたい」を合わせた《交流したい》(34.9%)は3割半ばであり、「できれば交流したくない」を10ポイント以上、上回っている。



## (2) 外国の方と同じ地域で生活するうえでの重要事項

外国の方と同じ地域で生活していくうえでの重要事項(3つまで回答)を聞いたところ、「お互いが相手のことを思いやる気持ち」(41.9%)と「語学力」(39.0%)がそれぞれ約4割となっている。次いで、「地域ルールの徹底等の周知」(33.4%)、「交流体験の機会(お互いを知り合うきっかけ)」(25.3%)、「声かけをする勇氣」(22.8%)となっている。



## 12 施策への評価・要望について

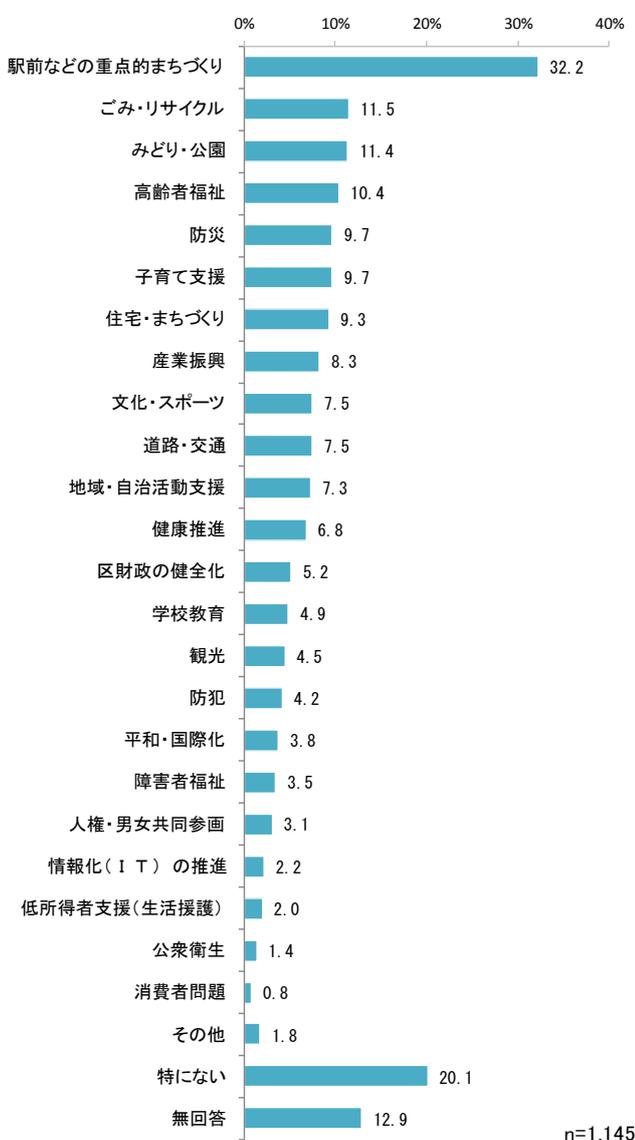
### (1) 区の施策への評価と要望

区が特に力を入れていると評価できる施策（3つまで回答）を聞いたところ、「駅前などの重点的まちづくり」（32.2%）が3割前半で最も高く、次いで、「ごみ・リサイクル」（11.5%）、「みどり・公園」（11.4%）、「高齢者福祉」（10.4%）が1割以上となっている。

今後特に力を入れてほしい施策（3つまで回答）について、第1位から第3位までの順位を聞いたところ、合計（1位～3位計）では「防災」（28.1%）が最も高く、次いで「高齢者福祉」（26.6%）、「子育て支援」（21.1%）となっている。

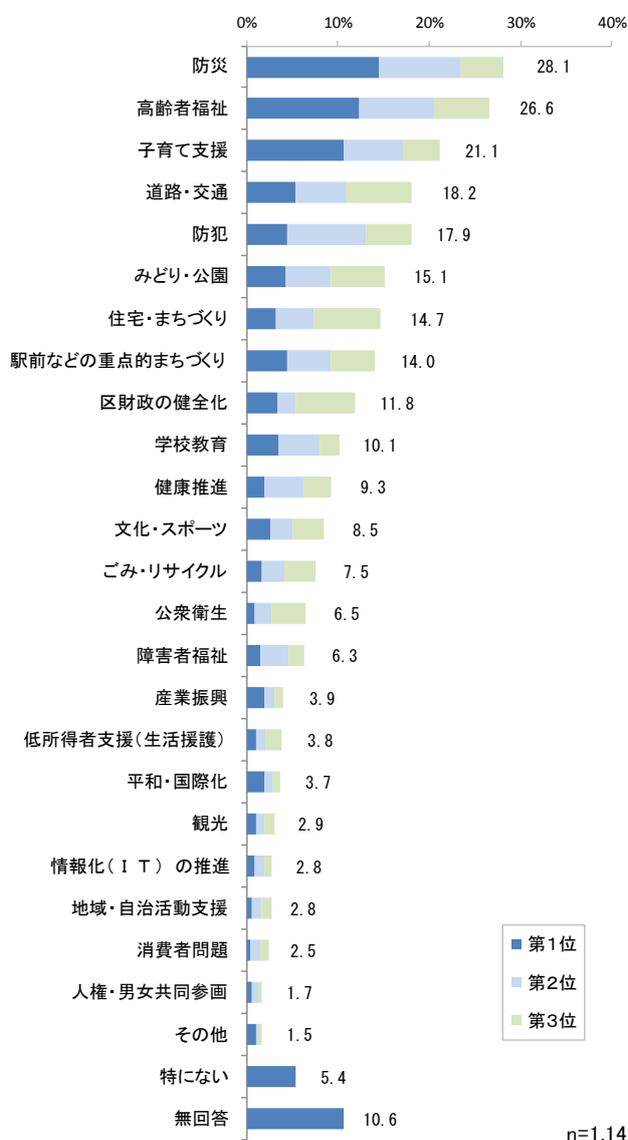
【区の施策への評価】

（3つまで回答）



【区の施策への要望】

（第1位～第3位と合計）



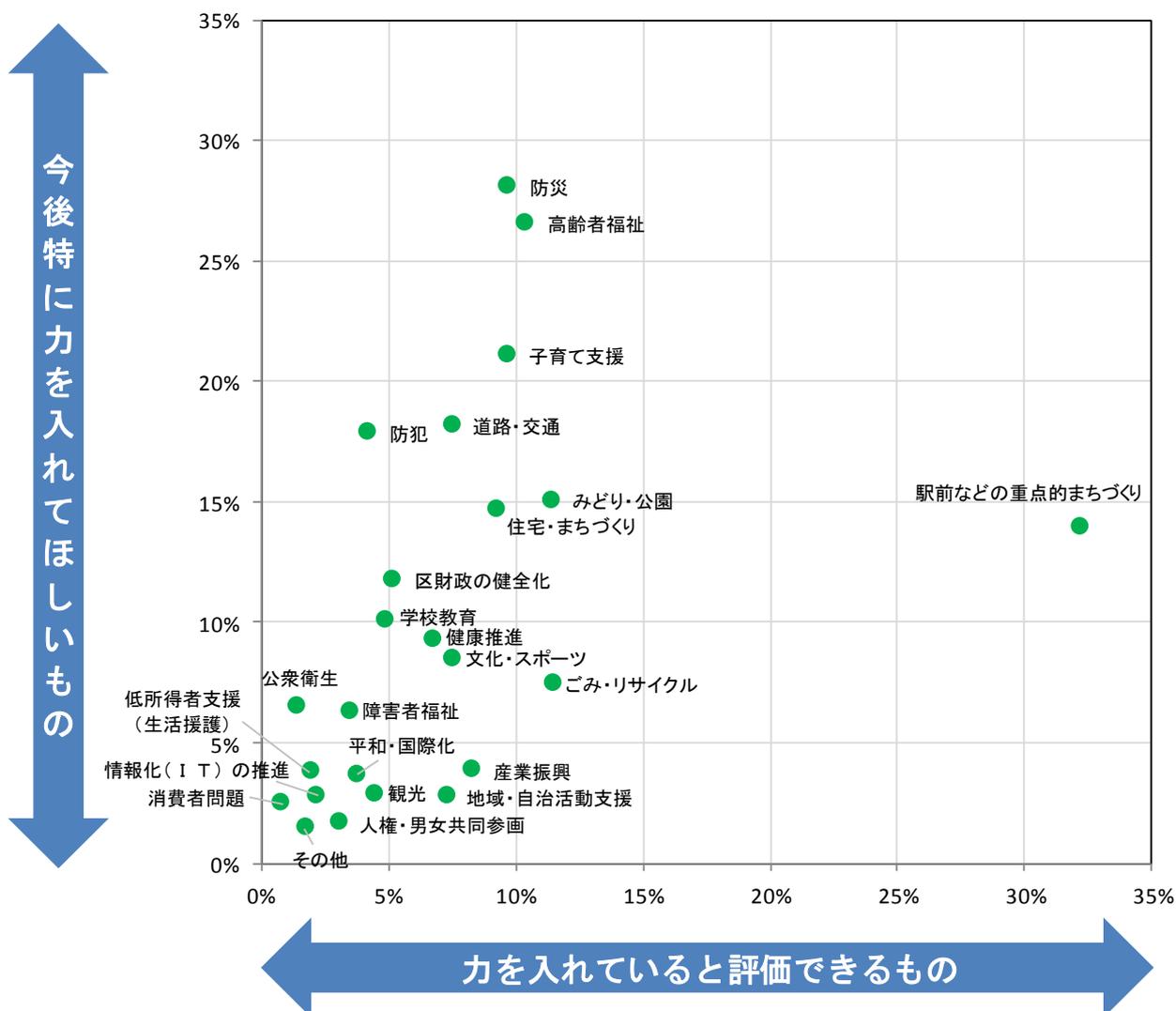
※「特にない」「無回答」は合計（第1位～第3位計）を表示

## (2) 区の施策への評価と要望（散布図）

区の施策への評価と要望の関係をみるために「力をいれていると評価できるもの」を横軸に「今後特に力を入れてほしいもの」を縦軸にとり、23項目とその位置をあらわしたのが下の図である。

この図では、左下に位置するほど「評価」も「要望」も低い施策であることを、反対に図の右上に位置するほど「評価」も「要望」も高い施策であることを意味している。さらに、左上に位置するほど、「評価」は低い、「要望」が高い施策であることを、反対に右下に位置するほど「評価」が高い、「要望」が低いことを意味している。

それぞれのカテゴリ別でみると、左上には「防災」、「高齢者福祉」、「子育て支援」、「防犯」、「道路・交通」が位置づけられている。一方、右下には「駅前などの重点的まちづくり」が位置づけられている。



### (3) 区の施策への要望（順位の変化）

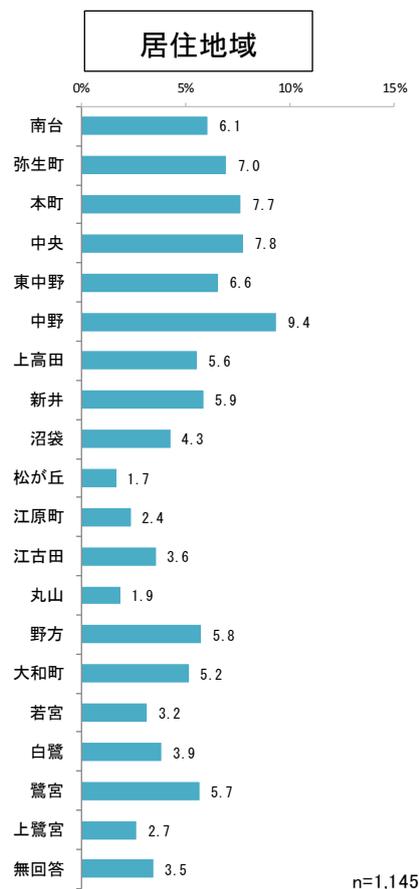
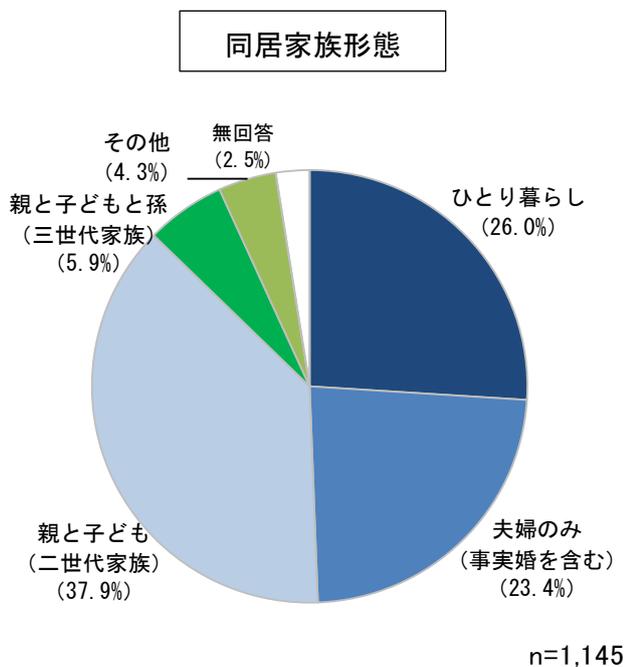
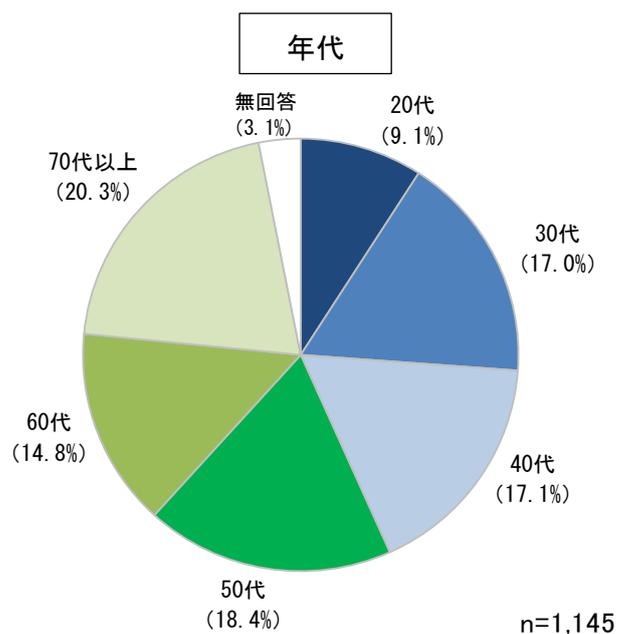
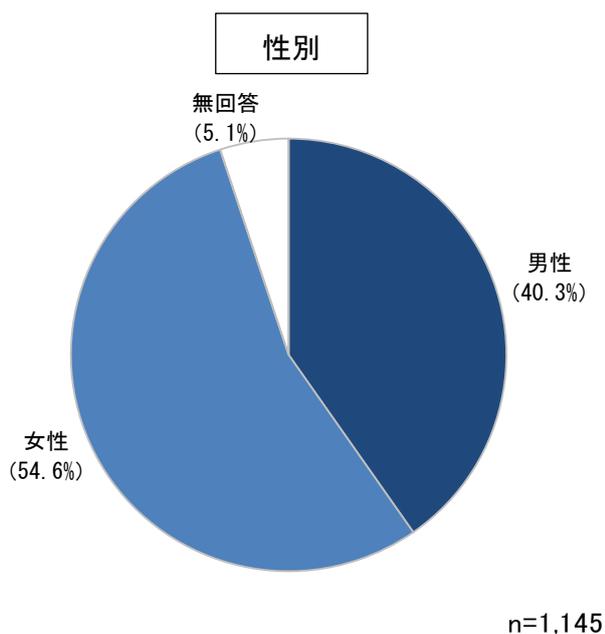
過去9回および今回の施策要望の上位10位までの推移をみると、上位3項目の順位は昨年（2017年）より変動はなかった。第4位～第10位については、順位の入替わりはあるものの、昨年からの項目、比率ともに特徴的な差はみられない。

上段は施策、下段は回答割合(%)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	第6位	第7位	第8位	第9位	第10位
2018年 (n=1,145)	防災 28.1	高齢者福祉 26.6	子育て支援 21.1	道路・交通 18.2	防犯 17.9	みどり・公園 15.1	住宅・まちづくり 14.7	駅前などの重点的まちづくり 14.0	区財政の健全化 11.8	学校教育 10.1
2017年 (n=1,167)	防災 24.7	高齢者福祉 23.1	子育て支援 21.2	みどり・公園 18.6	防犯 17.5	道路・交通 17.3	住宅・まちづくり 16.4	学校教育 13.1	駅前などの重点的まちづくり 12.3	ごみ・リサイクル/区財政の健全化 9.8
2016年 (n=1,228)	防災 27.8	防犯 22.5	高齢者福祉 22.4	子育て支援 21.2	住宅・まちづくり 17.0	みどり・公園 15.9	道路・交通 14.3	駅前などの重点的まちづくり 13.3	区財政の健全化 11.1	学校教育 11.0
2015年 (n=1,277)	高齢者福祉 27.0	防災 25.7	防犯 22.2	子育て支援 21.0	みどり・公園 17.8	道路・交通 15.6	駅前などの重点的まちづくり 13.2	学校教育 12.5	区財政の健全化 11.1	住宅・まちづくり 10.4
2014年 (n=1,249)	防災 31.5	高齢者福祉 27.1	防犯 20.7	子育て支援 20.7	道路・交通 19.9	みどり・公園 17.6	駅前などの重点的まちづくり 14.8	学校教育 12.6	住宅・まちづくり 10.4	産業振興 9.9
2013年 (n=1,436)	防災 36.2	高齢者福祉 31.6	防犯 21.2	子育て支援 19.4	みどり・公園 17.2	道路・交通 17.0	駅前などの重点的まちづくり 13.3	健康推進 12.2	学校教育 12.1	住宅・まちづくり 12.1
2011年 (n=1,395)	防災 28.9	防犯 22.9	高齢者福祉 22.8	みどり・公園 21.9	道路・交通 16.6	子育て支援 16.2	環境改善 10.8	健康 10.8	低所得者支援 10.5	住宅・まちづくり 10.2
2009年 (n=1,019)	防犯 28.0	高齢者福祉 25.7	みどり・公園 21.4	道路・交通 18.0	防災 17.3	子育て支援 14.8	健康 12.6	環境改善 10.4	子ども育成 9.7	ごみ対策 9.6
2008年 (n=887)	高齢者福祉 26.4	防災 26.3	防犯 26.0	みどり・公園 18.3	道路・交通 16.9	環境改善 14.9	ごみ対策 12.7	子育て支援 12.4	健康 10.7	学校教育 9.7
2007年 (n=1,104)	防犯 28.4	高齢者福祉 27.4	防災 25.5	みどり・環境 18.8	健康 15.4	子育て支援 13.2	ごみ対策 12.1	公園整備 11.7	道路整備 11.1	低所得者支援 9.8

※同率(%)の場合は、同順位である。

# 回答者属性



2018 中野区区民意識・実態調査報告書  
 平成31年2月発行 文書番号30中政企第801号  
 発行：中野区政策室企画分野政策情報担当  
 東京都中野区中野4-8-1  
 電話 03-3228-8892 (直通)